

# おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 10 号 (6 月 10 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 無念 県総体 初戦で散る

6 月 1 日 (土) 県総体一回戦が置賜地区各所で行われました。山東の初戦の相手は米沢工業。そして場所は米沢工業G。一昨年の県総体でも第一ラウンドで当たっており、そのときはCKから 2 発決め、辛うじて勝っている (そのうち一点は当時 1 年で出場したウスバのもの)。しかし、当然ながら双方とも過去とは違うメンバー。Y2Aで苦戦した長井のスタッフから「自分たちより上」との情報を入手していたので、当然ながら一戦必勝を誓って米沢に向かいました。

試合には、清野 OB 会長、後藤報道局長、佐竹校長などなど、OB・OG、学校関係者、保護者が多数応援に駆け付けて下さる。とても有難い応援体制。山東応援団からも 3 年生のチアのメンバーが応援に駆け付け、完全アウェーを感じさせない。

さて試合開始。山東、試合の入りは悪くない。前回のリーグ戦にて、入りに後手を踏み前半通して苦しんだことから、試合開始 5 分はリスクを負わず前線へのロングフィードを多用して、「ボールが足につく」まで押し込む作戦で臨む。それはそれでうまく行く。しっかり打たせてくれなかったものの、中央から左サイドへのパスに反応したリクがシュートを放つなど、その後の展開に楽しみを抱かせる。ただ、米工の選手は上背があり、シンプルな放り込みに全く動じない。5 分を過ぎて、落ち着いて攻め込むしかないと思わせる。しかし、5 分を過ぎてからもなかなか試合を落ち着かせることができず、FW のコテッチャンを走らせる薄い攻撃にどうしても頼ってしまう。FW の選手に対しては相手もしっかり対応するわけで、FW を走らせるばかりだと単調な攻めになってしまうし、走らせるロングボールは FW と MF の間の距離を広げてしまうので、FW が孤立しがち。**入りの 5 分にやろうと言っていたサッカーを前半通してやってしまう**。そして「まあ、風下の前半はスコアレスで粘りつつ、戦い方を修正させて後半勝負をかけるか」などと、ベンチで思っていた矢先、山東ゴールに近い位置からのゴチャゴチャを力強く抜け出した米工の選手がファインシュート！ 前半終了間際の痛い失点となる。前半 0 - 1。

ビハインドになったとはいえ、まだ 1 点差。後半、選手が力を発揮してくればまだまだ行ける、と焦ってはいませんでした。後半の入り、山東の怒涛の攻撃。特に、このチームの攻撃をけん引してきた左サイドのリクが鋭く抜け出し、惜しいチャンスをたびたび得るが、米工も最後の土俵は割らない。米工 GK は上背はないが、反応は早い。山東ボランチヨシタカの冷静な配給が目立つ後半の展開に、山東の同点弾の期待が高まるものの、同点弾が決まらないうちに、徐々に中盤のルーズボールを拾われる苦しい展開になっていく。そし

て、米工の MF のボールキープ力が上回り、早くマイボールにしようとボールに食らいつく山東の選手が、交わされるといったシーンが徐々に増えていく。米工の GK・DF の頑張りが特筆すべきですが、焦る山東を冷静に見透かして「つなぐカウンター」(某 OB のメールの表現)を繰り返してくる MF に歯噛みさせられる。そんな折、FK から深い位置でセンターリングを許し、ファーサイドまで流れたところを米工の左サイド?の選手に決められ、0-2。いよいよ苦しくなってきました。応援の方々も去年の逆転劇を知っているだけに「1点差ならまだ行ける」と思っていたでしょうが、2点差にいや～な展開を意識されたことでしょう。しかし、サッカーでは2点差が一番危ない(チャンス)とも言う。1点差だと勝っている方も慎重になるが、2点差だと甘さが出る。それに付け込んで1点返すと、ビハインドのチームが調子づき、同点になりがち、と言われる。その展開を信じるしかない。中央付近でリクが抜け出し、ボールは左にあったが右足のシュートに切り替えファーサイドを狙った冷静なシュートが決まり、1-2となる。「よし、その調子だ」と期待が高まる。しかし、その後、ゴール前フリーの状態でヘディングシュートやミドルシュートを打てたものの、ゴールは遠く。そうこうしているうちに逆襲から3点目を許し、追撃のムードが消えかける。山東イレブン、最後まで必死に闘いましたが、無念のタイムアップ。1-3で無念の敗戦。

**後半も試合を落ち着かせることができないまま、早く追いつこうという焦りがにじみ出るサッカーしかできませんでした。**その程度の対応力までしか選手に根付かせられなかった指導力のなさ、焦る選手を適切な交代で落ち着かせることのできなかつた起用法のまずさ等々、敗戦以降自問自答しています。米工は勝利に値するチームでした。それは認めつつ、**選手の質を考えれば違う指導者なら違う結果だった**のでは、と思わざるをえません・・・。

6月8日(土)県総体準決勝を観戦に、3年生までの部員全員で米沢へ行きました。苦しい試合ながらも GK がしっかり結果を出した山形中央、県総体連覇中の羽黒を堅守で破った東海大山形が勝利し、決勝へ。観ていませんが、9日決勝は1-0で山形中央が勝利したとのこと。**山形中央の皆さん、インターハイ頑張ってきてください。**特に2年ヨウタの双子の兄ミキマサ君頑張ってきてください。ヨウタに明太子のお土産買って来てね、そして顧問今野にお裾分けしてね(この一文はウソ)。東海大山形の皆さん、決勝は残念でしたが、追い詰められながらも逆転した PK 合戦は本当に感動しました。東北大会頑張ってきてください。

さて、昨年よりこのヨシタカの代には「2回総当たりのリーグ戦の1巡目終わるまでは3年生は残ろう」と言い続けてきました。残念ながら1名が県総体を機に切り替えたいと早期引退を申し出ましたが、残りはずべて6月末まで残ることに。6月17日~25日まで前期中間考査のために部活動が停止になるので、実質的に部活動のできる日数は限られています。が、**全員最後までレベルアップを目指し、そして、1巡目最終戦勝利のために、サッカーを楽しみ続けます。**1巡目最終戦の応援よろしくお願ひします。

**6月29日(土) Y2A 第7節 VS 鶴岡東 @鶴岡東G 12:00~**